

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社 JFEサンソセンター 福山工場

(2) 事業所の所在地

広島県福山市鋼管町1番地

(3) 業種

圧縮ガス・液化ガス製造業 (1623)

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成22(2010)年度を基準年度とし、令和2(2020)年度から令和6(2024)年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

1 基本的な考え方

環境の保全を経営の重点課題と位置付け、環境に配慮した事業活動に努め環境への負荷の低減を推進することにより、持続可能な社会づくりに貢献する。環境問題の中で重要視されている、地球温暖化防止については、温室効果ガスの排出抑制に努めて行きます。

2 方針

- ① 省エネルギー、省資源の推進
- ② 廃棄物の排出を抑制し、環境汚染の予防を推進
- ③ 社員への環境教育の徹底
- ④ 環境保全活動への積極的な参加

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成22年度	令和1（平成31）年度
二酸化炭素	631, 227	575, 570

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)	削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂				0
非エネルギー起源CO ₂				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

生産量[kNm³/年]

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成22年度)		原単位 削減目標	目標年度 (令和6年度)			
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	631, 227	2, 982, 000	0. 212	14. 0			0. 182
非エネルギー起源CO ₂				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量				#VALUE!			
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-		0. 0	-	-	
目標設定の考え方	基準年度は前回 (2015年=H27年) 提出した際と同様にH22年に設定した。 原単位が対前年度比で1%改善することを目標としている。 →令和6(2024)年度=平成22(2010)年度×0. 99 ¹⁵ =0. 212×0. 99 ¹⁵ =0. 182						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	電力原単位 対前年度比1%削減	効率運転実施の徹底 高効率装置への更新 冷暖房温度の適正管理 高効率照明器具への更新
2			
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

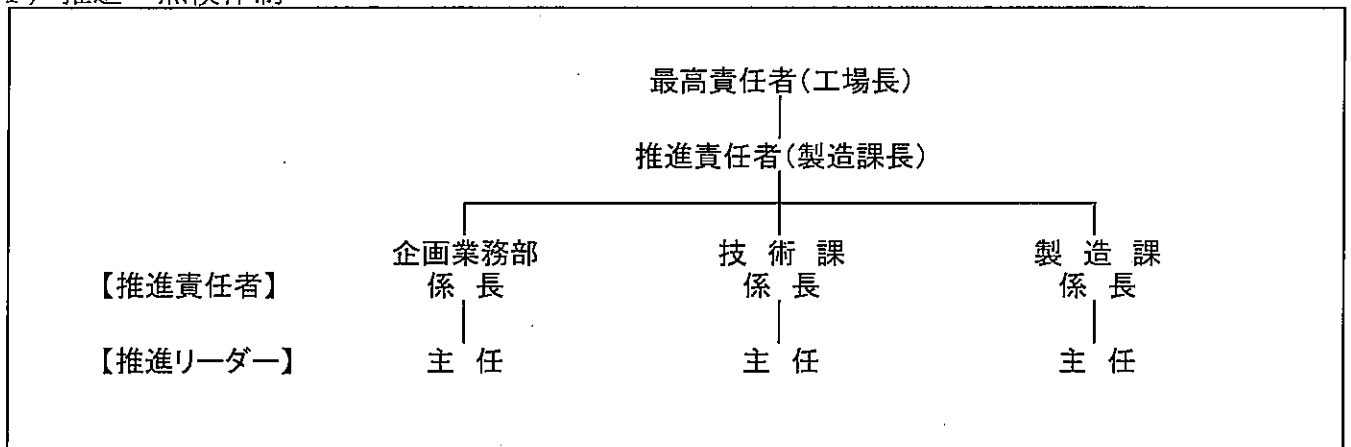
○ その他の取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物の分別徹底	リサイクルの向上を図る	廃棄物の分別細分化を行い、資源化を徹底
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

毎年 温室効果ガス削減計画の取り組み状況・点検を実施する。
また、問題点の検討を行い、省エネ・環境連絡会議において定期的に
評価、見直しを行い継続的な向上を図る。

(3) 計画書等の公表

社内に関覧用ファイルを置きます。